

應援 皇道會大森工場支部 京英合同労働組合

近所 御注意	▲資本家の手先 御注意！ 危うい女子供 鬼重役！ 板倉幸利を町内から夕、夕出せ！ エビス電球大森工場労働組合
近所 御注意	▲資本金の手先！ 犬！奈良國男を エビス電球大森工場労働組合 應援 京英合同労働組合 小型ドラ

ノモノ切ツ四紙半

▲資本家の手先！ 犬！奈良國男を  
エビス電球大森工場労働組合  
應援 京英合同労働組合  
小型ドラ

エビス電球の  
争議を勝せろ！  
デモだ！ 勤員だ！  
危うい女工さん！  
暫く休み！  
エビス電球大森工場  
争議團本部  
應援 京英合同労働組合

切半 = 従フ分半紙半

別記 (2)

財布を叩いてエビス電球争議を守れ！！

二ヶ月に亘る苦斗と 血みどろの藩城を續ける  
エビスの 兄弟を救え！！

既に二ヶ月に亘る。エビス電球株式會社大森工場の争議は、會社と日本労働  
總同盟の露骨なる共同攻撃の故に極度に深刻化し、今や何時解決するか、更に  
見込の立たない有様の中、我が支那員と總同盟の、ゴロツキとりの間に血理  
キ斗争が繰返されてゐる。  
總同盟の如等は全く會社の用心棒となり、毎日武装せる總同盟も工場通用門  
に動員して裏切者を警備してゐる。  
又裏切者は工場附近の裏切者合宿所に収容され、辛くも争議團員の攻撃から脱  
れて通勤してゐる状態であるが、女工や小年工中此の不安なる空氣に怯えて殆  
んど欠勤し總同盟への加入を會社から強制されて女工九名は遂に工場を罷り  
工場は事實上火の消えた様を寂しさとたつてゐる。か會社は總同盟をたより  
として依然としてカン張つてゐるのだ。情勢はもう一息と云ふところだ、  
争議團は今之の深刻なる態度持又から一途重大なる決意を以て最後の果敢な  
る行動へと移らんとして居る。  
××の決定的斗争は、將に火蓋を切らんとしてゐるのだ！か  
争議團の兄弟は二ヶ月に亘る藩城線と、無收入の爲に、その兵糧をえ絶えん  
としてみらるのだ！  
とう一息を、兄弟を見殺しにするな、一銭でも、二銭でも、一財布ク